みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022 年 8 月 29 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	•	寸	体	名	株式会社 西村組
所		在			地	北海道紋別郡湧別町栄町 133 番地の 1
代	表者	役目	哉	・氏	名	代表取締役 西村 幸浩
+	Mz.	+/	\ +	√ / 5 7	#	電 話:01586-5-2111
担	当	有	選	絡	先	メール:m-umetsu@nishimura.co.jp
ウ	ェブ	サイ	 	U R	L	https://www.nishimura.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 11 年に創立した総合建設業者であり、北海道の港湾を中心として海上土木工事、浚渫等の請 負工事業を実施しています。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	先進的な技術の活用により建設工事におい て排出される温室効果ガス排出量を削減す る	事業において排出される温室効果ガス排出量 【現状】34,387t-CO2 【目標】33,700t-CO2 (2%)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を 短縮する	月平均時間外労働時間 【現状】22.62 時間 【目標】20.00 時間
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

Г	カ						主な	SDGs	(17	7ゴー	ルと	:169	ター	ゲッ	h)	関連リ	頁目			
	テー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5		7	8							15	16	17
	ゴリ	/ = / / · Au		15% Ř ekk ř	5 401 5 401	3 ****** -₩◆	4 Resources	5 militari	6 seems	7 that-same	8 ####	9 111 2007	10 **Barre*	11 \$450000 ABA	12 335	13 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	14 ************************************	15 800 PG	16 ******** 1	1 desirable and the second and the s
1	人権・	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育 体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している																		
2	労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、 ルール・教育・相談体制を整備している	セクハラ・パワハラ防止の強化					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8		10.3							
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	北海道働き方改革推進企業シルバー認定 北海道あったかファミリー応援企業認定								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認して いる																		
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備 に取り組んでいる	安全衛生委員会の設置			3														
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取 り組んでいる	アルコールチェックを励行し健康維持と安全な作業、 安全運転を実施			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分 に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	北海道なでしこ応援企業認定					5.1 5.2			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	全ての従業員の資格取得・職務教育を推進				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対 応している																		
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる																		
	環境	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う 等、3 R (リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り 組んでいる	廃油・鉄くずをリユース・リサイクル											11.6	12.4 12.5					
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化 を進めている																		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めて いる	*事業所のLED照明化を実施 *IMO国際海事機関による排出ガス規制認証エンジンを搭載した建設機械の使用による燃料消費量とCO2の削減 補助燃料発生装置エネフォークを使用し *燃料消費量とCO2の削減							7.2 7.3					12.4					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑 制及び適切な使用に取り組んでいる																		

Г	カ						主だ	SDG	: (1	7ゴー	لم بال	- 169	ター	ゲッ	卜)艮	月連 耳	百日			\neg
	7	て 有荷口	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8			11				15	16 1	7
	ゴリ	チェック項目	(公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 8% (1/4 9/4)	2 ****	3 ERCERT	4 ROD-699			7 = 20.05 - 60.0000.			10 ATBORES				14 ************************************		16 1440	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配 慮している	油流出による海洋汚染の防止を実施する 海の大切さを伝える現場見学会を実施						6.6								14	15		
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組 んでいる																		
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している																		
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電による自然エネルギーの活用							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる																		
21	製品・サ	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築して いる																		
22	リービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築し ている	品質マネジメントシステム(ISO9001)の取得 ICT機器を使用した質の高い作業を実施									9			12.4					
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる																		
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組ん でいる	研究開発室による海洋生物の研究																	
25	社会貢献		国、地方公共団体との災害協定締結 地元人材の積極採用 インターンシップの常時受入れ				4					9		11	12		14	15	1	7
26	献・地域	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んで いる	地域のイベントに支援・参加 献血活動への協力 交通安全運動への参画				4							11			14	15	1	7
27	貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している																		

	カ						主な	SDG	s (1	7ゴー	-112	169	ター	ゲッ	h)	関連「	頁目			
	カテ、	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	ゴリ	, <u> </u>	併せて記載してください。)	1 5% (1/4 %)	2 ====	3 FORBER	4 stockers	5 SELIST TREE	6 separate	7 Shaf-Bakez	8 HIER ***	9 RECEIPERS	10 ANDARES	11 EARPHAN	12 334	13 MARRIE .	14 AND TO THE REAL PROPERTY OF THE PERTY OF	15 808 HOT.	16 ******* 17	
28	体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	西村組PRIDEによる理念・価値観の共有								8	9								
29	制	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止な ど法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体 制・仕組みを構築している																		
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部 署などの体制を整備している																		
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がス テークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者・消費者、投資家等及び社会全体)																		
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特 定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																		
33		【社会的貢仕】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的 責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対 Lて 責任を持った対応に取り組んでいる																		
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCP計画の策定と運用									9		11		13.1				
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 17

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北海道紋別郡湧別町栄町 133 番地の1

名 称: 株式会社 西村組

代表 者: 代表取締役 西村 幸浩

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	先進的な技術の活用により建設工 事において排出される温室効果ガ ス排出量を削減する	事業において排出され る温室効果ガス排出量 【現状】34,387t-C02 【目標】33,700t-C02	小型太陽光発電機器による電力の補助供給を進めています。 【現状】34,614t-C02
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間が労 働時間を短縮する	月平均時間外労働時間 【現状】22.62時間 【目標】20.00時間	勤怠管理システムの導入により時間管理の徹底と個別面談指導の実施を行っています。 【現状】22.41時間
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北海道紋別郡湧別町栄町 133 番地の1

名 称: 株式会社 西村組

代表 者: 代表取締役 西村幸浩

登録年月日: 令和5年3月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	先進的な技術の活用により建設工 事において排出される温室効果ガ ス排出量を削減する	事業において排出され る温室効果ガス排出量 〔現状〕 35,293T-C02 〔目標〕 33,700T-C02	現場事務所における小型太陽 光発電機器の設置 (30%) パイプ゛リット、車への入替 (計画)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間が労 働時間を短縮する	月平均時間外労働時間 〔現状〕 〔目標〕20.00時間	DX 推進部による ICT 化の促進 により労働時間の短縮(10%)
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北海道紋別郡湧別町栄町 133 番地の1

名 称: 株式会社西村組

代表 者: 代表取締役 西村幸浩

登録年月日:

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
√環境 □社会 √経済	先進的な技術の活用により建設工 事において排出される温室効果ガ ス排出量を削減する	事業に置いて排出される温 室効果ガス排出量 【現状】34,388T-C02 【目標】33,700T-C02	現場事務所における小型太陽光発 電機の設置 (30%) ハイブリット車へ入替 (計画)
□環境 √社会 √経済	合理的、生産性向上による時間が労 働時間を短縮する	月平均時間外労働 【現状】22.4時間 【目標】20.00時間	DX推進部によるICT化の促進 により労働時間の短縮(10%)
□環境 □社会 □経済			